



嚶鳴フォーラム in 高島 サミット宣言 (2008年9月27日)

【経緯】

平成19年7月、私たちは、ふるさとの先人をよりどころにした温故創新（おんこそうしん）の「まちづくり、人づくり、心そだて」を基調のテーマとしつつ、これからの地方自治体が直面する諸課題について、互いに切磋琢磨しながら交流を深める「嚶鳴フォーラム」を継続的に開催していくことを申し合わせ、本年6月、「嚶鳴協議会」を設立した。

【目的】

私たちが目指すのは、互いの取り組みを「知恵」として持ち寄り、衆知を集めて普遍的な「叡智」にまで高めることである。そこに住む人々が誇りや志を持てるような地域づくりを行ないつつ、人間らしく生きる力を身につけ、広く日本社会を動かすことである。それは地域主権とグローカリズムの時代を見据えた、地方自治体有志による新たな政策連携の取り組みでもある。

【総論】

2年目にあたる本年は、中江藤樹生誕400年を迎えた滋賀県高島市に集い、「未来を担う子どもたちの人づくり、心そだて」をテーマに、各市の取り組みの紹介と意見交換を行った。ここでは、ふるさとの先人について次代を担う子どもたちに積極的に伝えようとするのが、大人にとってもふるさとを見つめ直し、良知・良心の鉱脈を掘り起こす機会となる。また、それは地域の個性に立脚した地域再生や教育再生を進めるうえでも有効な方策であり、地域の幸福学でもあることが確認された。

【各論】

そこで、今後は以下の項目について参加各市が歩調を合わせて取り組んでいくことで基本的な合意を得た。

- ・本日の討議内容を「嚶鳴フォーラム in 高島からの提案」として、広く世の中に情報発信を行うべく、さらに検討と討議を積み重ねる。
- ・ふるさとの先人の業績や精神を、よりわかりやすく現代に活かせるよう努める。
- ・インターネット等を用いて、ふるさとの先人に関する情報を共有する。
- ・ふるさとの先人に関する書籍資料等を相互に交換し、図書館等に展示コーナーを設ける。

嚶鳴協議会



- ・ふるさとの先人に関する市民向けの講座や企画を、単に一自治体の中だけにとどめるのではなく、相互に連携して充実させる。
- ・「子ども嚶鳴塾」と名づけた、子どもたちの相互交流の機会を設ける。
- ・ふるさとの先人を学校教育に生かすための実践交流の機会を設ける。
- ・これらを具体化するため、実務者による定期的な会合を設ける。

【次回】

次回の嚶鳴フォーラムは、平成 21 年 10 月に岐阜県恵那市で開催することを決定した。本年度の「未来を担う子どもたちの、人づくり、心そだて」を発展させ、視点を子どもから大人の世代、とりわけ親学（おやがく）の必要な世代に焦点を当てることで、本年度の討議内容をさらに掘り下げ具体化する。そのために必要な準備を今後一年間かけて行いつつ、定期的に情報発信を行なっていく。

平成 20 年 9 月 27 日
